

## 使用上のご注意

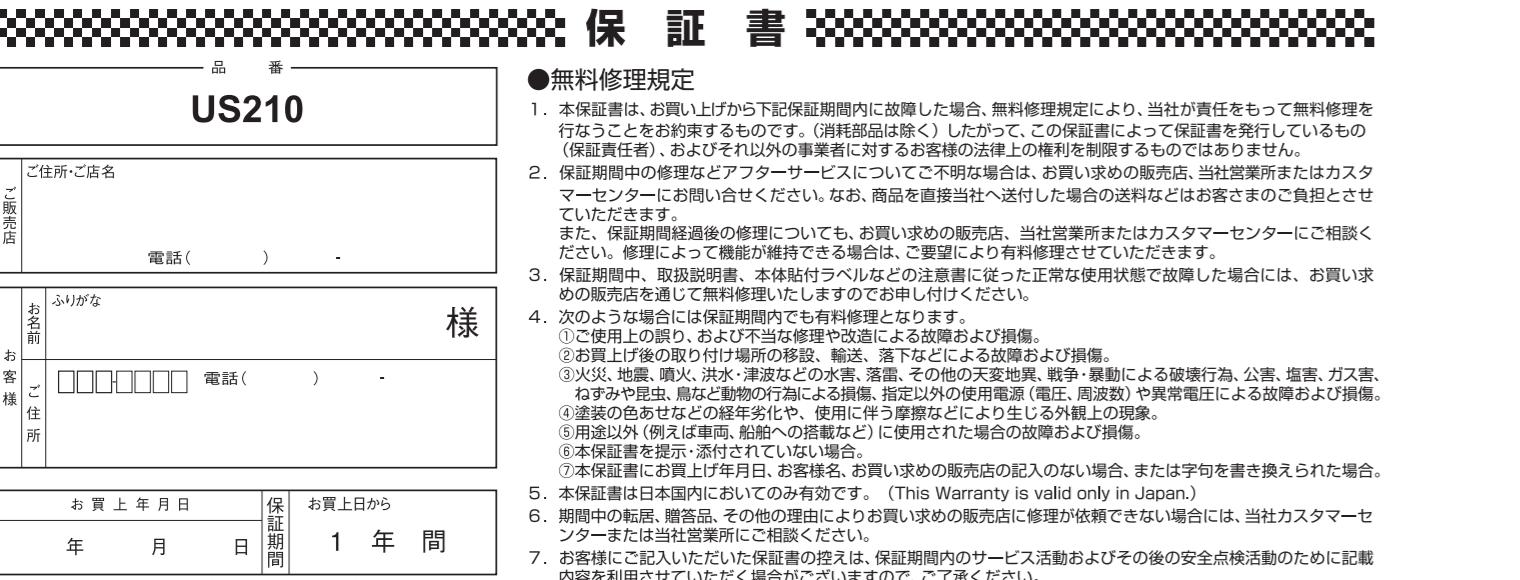
- 以下のような場所では受信レベルが低く受信できない、またはブロックノイズが出ることがあります。
  - ・電波が弱い場所
  - ・周囲に電波を遮る、または反射する障害物のある場所など。
- 屋外で設置の場合、アンテナは電波到来方向の障害物をさけるように、できるだけ高い位置に設置してください。
- 屋内で使用していて受信状態が不安定な場合は、アンテナを屋外に設置してください。
- アンテナを設置するとき、ネジ類はドライバーやスパナなど工具を用いて、指定のトルクでしっかりと締め付けてください。
- このアンテナに多量に雪が積もった場合、受信不良が起こったり、雪の重みでアンテナが破損する恐れがあります。
- 付属品のスタンドは屋内でのみ使用してください。
- 地域によって受信する電波が水平偏波（横置）、垂直偏波（縦置）かをご確認の上、ご使用ください。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 規格特性

品名	UHFアンテナ
品番	US210
受信周波数(MHz)	470~710(ch.13~52)
偏波面	水平または垂直
インピーダンス(Ω)	75(F形)
利得(dB)	3~5
VSWR	2.5以下
前後比(dB)	9~16
半値幅(°)	60~75
適合マスト径(mm)	φ15~38
寸法(H×W×Lmm)	97×307×141 (スタンド含む)
質量(kg)	0.7(スタンド含む)

※耐風速：45m/s(破壊風速)

規格は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。



カスタマーセンター 0120-941-542 ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>  
(受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く) 携帯電話・PHS一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合 03-4530-8079

DXアンテナ株式会社 本社〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

(1302)

## 取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、  
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。  
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

DIGITAL

## UHFアンテナ

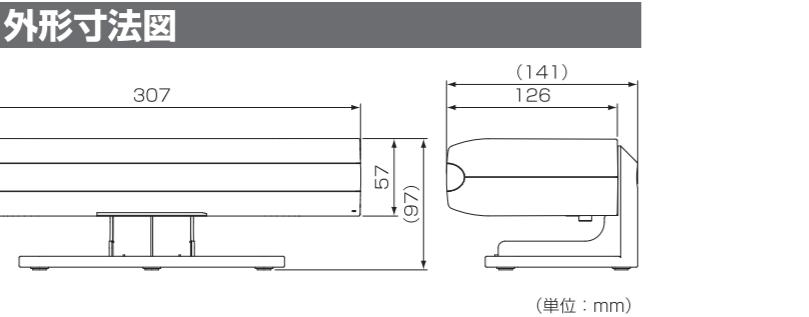
地上デジタル放送用(ch.13~52)  
[水平・垂直共用、出力75Ω(F形座)仕様]

US210

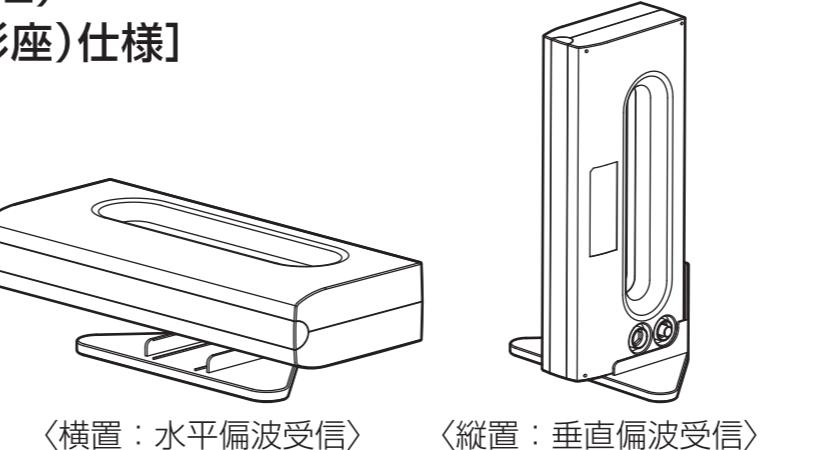
### 強電界地域用

※強電界地域とは…

電波塔から距離が近く、電界強度が  
80dB<sub>A</sub>/V/m以上の地域のことです。  
電波塔が見えていることが目安です。



(単位:mm)



〈横置：水平偏波受信〉 〈縦置：垂直偏波受信〉

### 製品の特長

- ツートンカラーのスマート・コンパクトな外観で、テレビの横など室内はもちろん、ベランダやマストなどの屋外にも設置できます。
- 「フラットスリーブアンテナ方式(※)」採用により従来のアンテナに比べて大幅な小形化と高性能化を実現しました。
- 土壤汚染・大気汚染など環境に影響を与える物質を使用しないことなど厳しい自社基準をクリアーした製品です。

(※) 社内名称

### 安全上のご注意

#### ●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことを約束するものです。(消耗部品は除く)したがて、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お問い合わせの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様のご負担とさせていただきます。
3. 保証期間経過後の修理についても、お問い合わせの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
4. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お問い合わせの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申付けください。
5. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
  - ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
  - ②お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
  - ③火災、地震、噴火、洪水、津波などの水害、雷電、その他の天災地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆蟲、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
  - ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
  - ⑤用途以外(例えは車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
  - ⑥本保証書を提示、添付されていない場合。
  - ⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お問い合わせの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
7. 間隔中の転居、贈答品、その他の理由によりお問い合わせの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。

本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

### 警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- アンテナの設置・受信には経験が必要ですので、お買い上げの販売店などにご相談ください。
- アンテナのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。故障やけがの原因となります。
- 内部の点検・調整・修理は販売店などにご依頼ください。
- アンテナや取扱装置などに登ったり、乗ったりしないでください。特にお子様のいるご家庭では注意してください。落ちたり、倒れたり、破損したりして、けがの原因となります。
- 雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れないでください。感電の原因となります。



DIGICATCH

●次のような場所に設置しないでください。

- ・強度の弱い場所や地盤の弱い場所、ぐらついたり振動する場所
- ・人や車両の通行の妨げになる場所
- ・配電線、ネオンサイン、架線や電話線の近く
- ・煙突の付近や、高温になる場所



●高所など足場の悪い場所で設置作業をする際は、十分注意してください。また、アンテナの部品や工具類を高いところから落とさないでください。落ちたり、すべったり、けがの原因となります。



●組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力(トルク)に指定がある場合はその力(トルク)で締め付け、堅固に固定してください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●風の強い日や雨、雪、雷などの天候が悪い日は、危険ですから設置工事や点検をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



### 注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



●台風の後や積雪の後などは、アンテナや取扱装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にて依頼ください。



●アンテナや取扱装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。

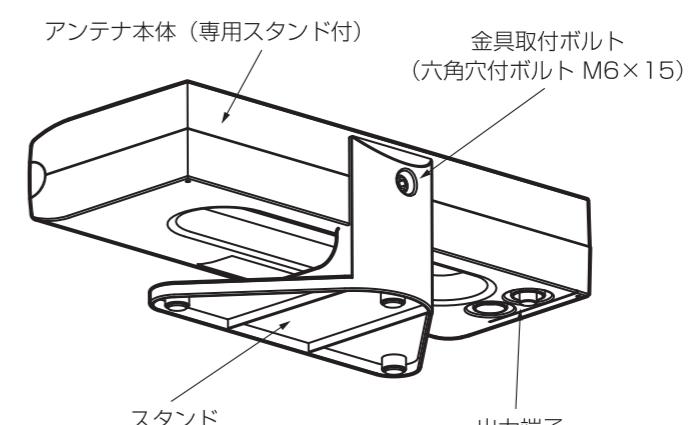


●マンションやアパートなどによっては、屋外の取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。

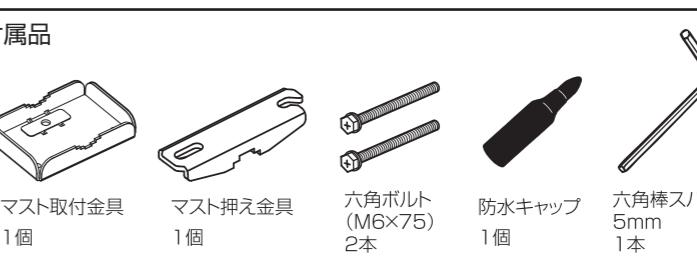
### お取扱いの前に

- 組み立て、取扱作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行ってください。
- アンテナを落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 屋根や壁面、ベランダの手すり等に取り付ける場合、設置場所の強度に注意し、また長期にわたり台風などの強風に耐えるように強固に固定し、落下、転倒しないよう安全性と信頼性を十分に考慮してください。
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取扱作業は行わないでください。

### 各部の名称



お客様に準備いただくもの	
屋内設置	同軸ケーブル (加工済)
屋外設置	F形接栓
同軸ケーブル (S-5C-FBなど)	アンテナとテレビをつなぎます
L形プラグ	ケーブルに合わせて選択
アンテナとテレビをつなぎます	ベランダ取付金具 (ベランダ取付の場合)
マスト取付金具	(※ベランダ以外に取付する場合はマスト・屋根馬・ステー・ワイヤなどが必要です。)
マスト押さえ金具	アンテナとテレビをつなぎます
六角ボルト (M6×75)	スパナ、ドライバー等の工具類
防水キャップ	スパナ、ドライバー等の工具類
六角棒スパナ 5mm	スパナ、ドライバー等の工具類



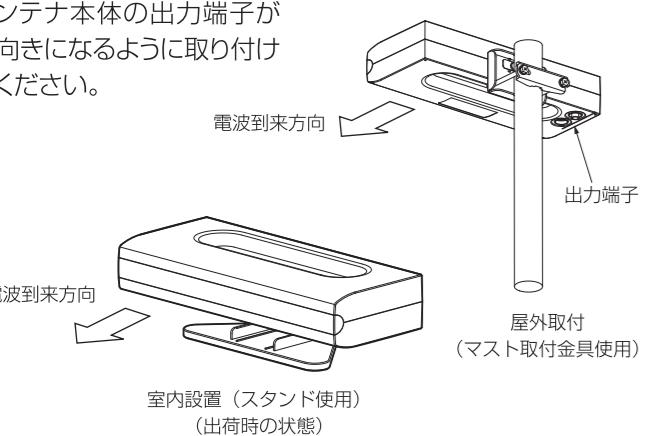
1

## 受信偏波とアンテナ取付方向

●受信する電波の偏波面（水平または垂直）に合わせてアンテナの取付方向を下図のように変えてください。取り付ける場所の放送が水平偏波か垂直偏波かはお買上げの販売店にお問い合わせください。  
出荷時は横置（スタンド使用、水平偏波受信）となっています。

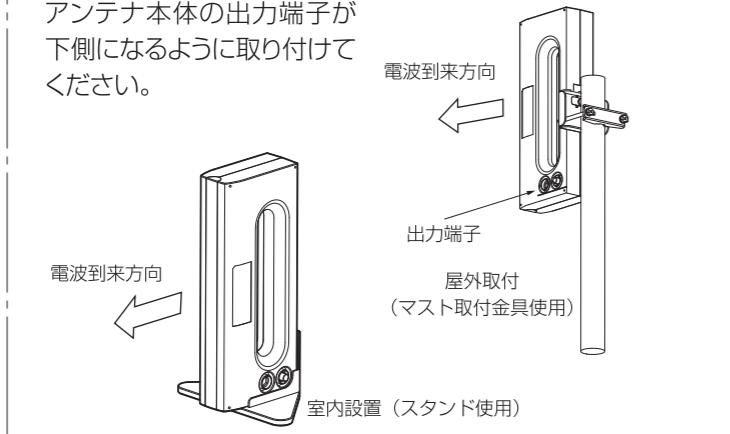
### 〈水平偏波受信のとき〉

アンテナ本体の出力端子が下向きになるように取り付けください。



### 〈垂直偏波受信のとき〉

アンテナ本体の出力端子が下側になるように取り付けください。



## 屋内設置

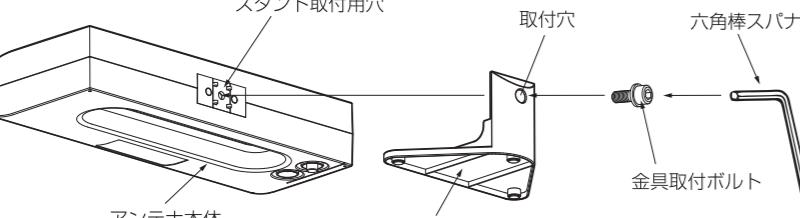
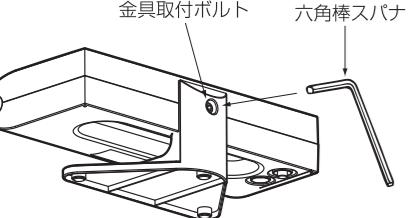
### 〈アンテナ部とスタンドの取り付け／取りはずし〉

#### 横置き(水平偏波受信)の場合

●本体を箱から取り出し、そのまま同軸ケーブルでテレビと接続してご使用ください。

#### 縦置き(垂直偏波受信)の場合

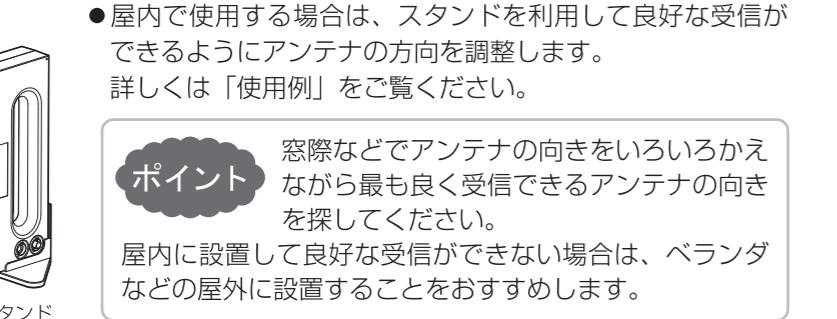
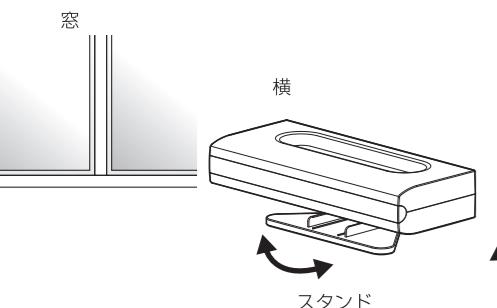
①出荷時は金具取付ボルトでアンテナ本体とスタンドを固定しています。  
縦置きにする場合は付属の六角棒スパナで金具取付ボルトを回して、  
スタンドを取りはずしてください。



②出力端子が下側になるようにアンテナを縦向きにして、アンテナ本体の溝とスタンドのレール部とが合うようにはめ込んでください。  
※金具取付ボルトは使用しません。

取りはずした金具取付ボルトと六角棒スパナは保管しておいてください。

### 〈方向調整〉

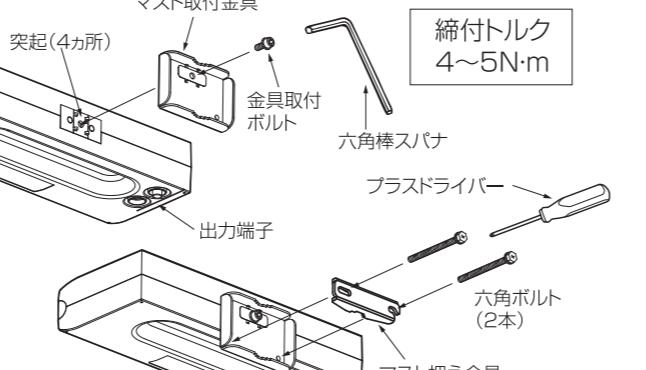


## 屋外設置

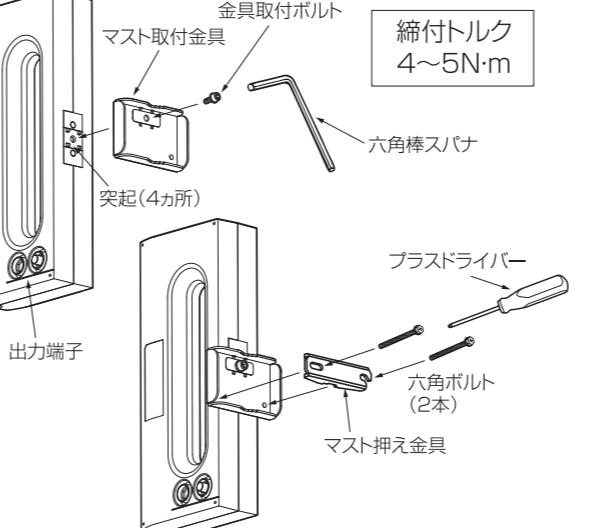
### 〈マスト取付金具の取り付け〉

- アンテナ本体からスタンドを取りはずします。（左ページの〈アンテナ部とスタンドの取付け/取りはずし〉をご覧ください。）
- アンテナ背面の4つの突起部分にマスト取付金具をはめ込みます。このとき、受信する放送の偏波に合わせてアンテナ本体の向きを横向きか縦向きかを選びます。（放送が水平偏波か垂直偏波かはお買い上げの販売店にお問い合わせください。）
- 六角棒スパナを使用してアンテナ本体とマスト取付金具を金具取付ボルトで締め付け固定します。
- アンテナ本体の出力端子を下側にして、図のように六角ボルトをマスト押さえ金具の穴に通してマスト取付金具のボルト穴に取り付けます。

### 〈水平偏波受信の場合〉

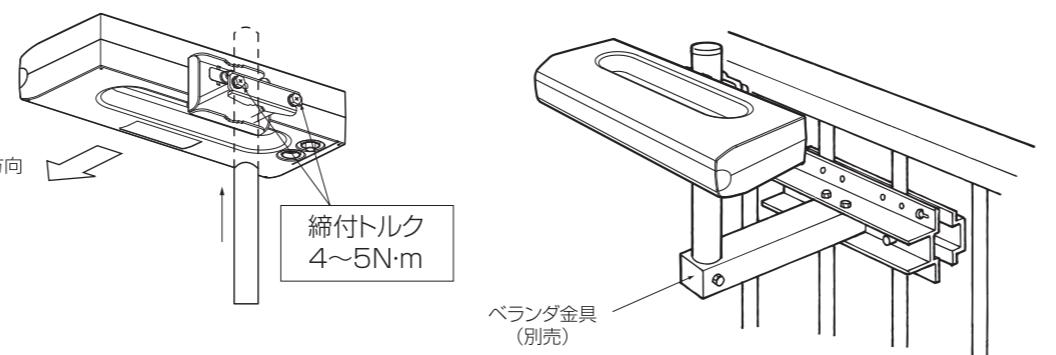


### 〈垂直偏波受信の場合〉



### 〈別売のベランダ金具を使用する場合〉

- ベランダ金具（別売）をベランダや壁面に取り付けてください。  
(取付方法はベランダ金具の取扱説明書をご覧ください)
- ベランダに取り付ける場合は、マスト径がφ15~38mmのベランダ金具（別売）をご使用ください。



## 使用例

①アンテナ本体の出力端子と地上デジタル放送チューナー内蔵テレビまたは地デジチューナーのアンテナ入力端子を同軸ケーブルで接続してください。

②地上デジタル放送チューナー内蔵テレビや地デジチューナーのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。（詳しくはご使用の地上デジタル放送チューナー内蔵テレビなどの取扱説明書をご覧ください。）

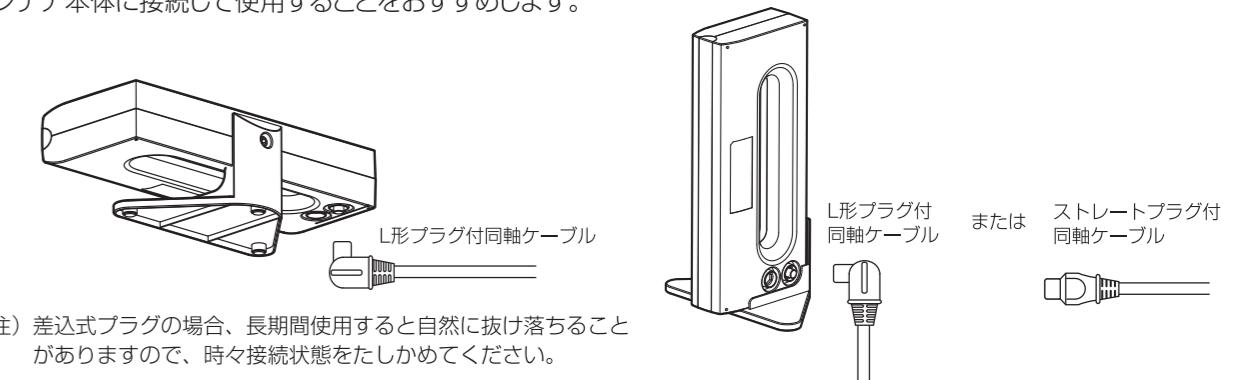


アンテナを左右に動かして受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。

## 本体へのアンテナケーブル（別売）の接続方法

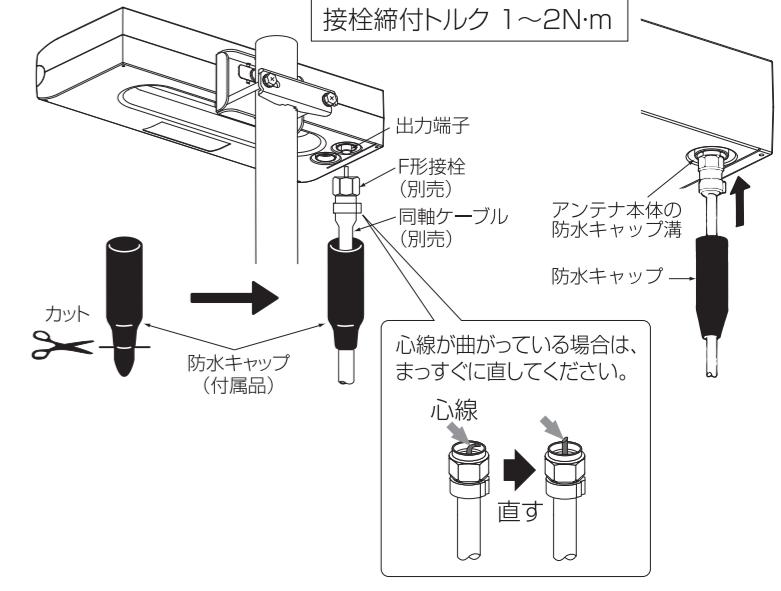
### 〈屋内で使用する場合〉

- 屋内で使用する場合は、図のように付属の防水キャップを使用する必要はありません。
- 別売のF形接栓加工済の同軸ケーブル（2C相当の両側L形プラグまたは片側L形、片側ストレートプラグ）等のL形プラグ側をアンテナ本体に接続して使用することをお勧めします。



### 〈屋外で使用する場合〉

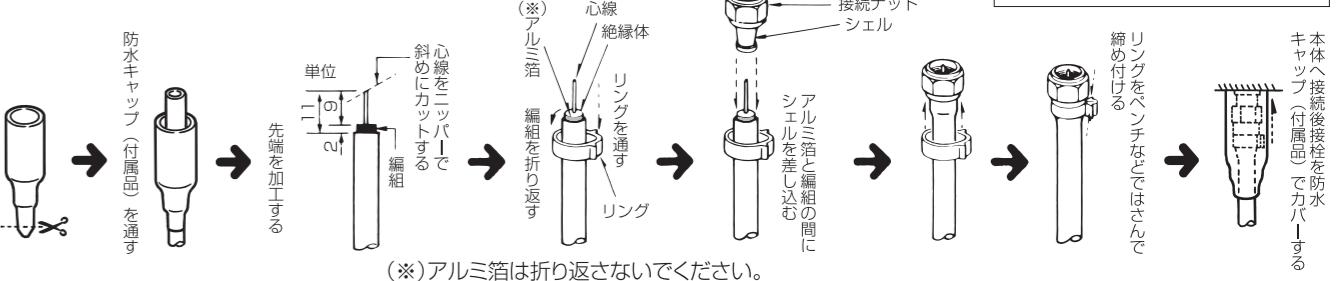
- 同軸ケーブル、接栓（いずれも別売）を使用し、図のように加工して接続するか、または接栓付同軸ケーブル（別売）をご使用ください。
- ※同軸ケーブルはできるだけ4Cまたは5Cケーブルのご使用をおすすめいたします。接栓は同軸ケーブルに合わせた製品をご使用ください。
- 付属の防水キャップの先端をケーブルの太さに合わせてカットし、同軸ケーブル（別売）に通しておいてください。
- 同軸ケーブル先端にF形接栓を接続した後、アンテナ本体下側の出力端子にまっすぐ確実に接続してください。
- F形接栓をアンテナ本体に接続した後、防水キャップ（付属品）をアンテナ本体の防水キャップ溝の奥まで確実に差し込んで接栓部を雨水などからカバーしてください。



### 〈F-5接栓（別売）へのアンテナケーブルの接続方法〉

5C相当同軸ケーブルにF-5接栓（5C同軸ケーブル用接栓）を取り付ける場合の加工例です。

#### （5C相当同軸ケーブル使用）



- 同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線・編組に傷をつけたり上記加工以外の加工をすると断線やショート、機器の破損の原因になりますのでご注意ください。また心線と編組は、絶対に接触しないようご注意ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 設置した後で抜けたりしないように、同軸ケーブルのリングはしっかりと締めてください。
- この製品へのF形接栓の接続は、接栓ナットを1~2N·mで締め付けてください。（2N·m以上では締め付けないでください。）
- 接続する同軸ケーブルの接栓の取り付けは、その同軸ケーブル専用の接栓を説明書通り加工してご使用ください。特殊な加工をしたものを使用すると特性の悪化や機器の破損につながります。